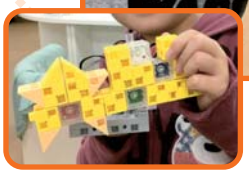
エジソンアカデミー
エジアカ通信
vol.4
2017年1月15日発行
アーテック エジソンアカデミー

新年あけましておめでとうございます。2017年もエジアカ通信をよろしくお願いいたします。
さて前号にて、全国のみなさんの作品を紹介したところ、とても多くの反響をいただきました。
そこで引き続き、みなさんの力作ロボットを紹介します!

大反響につきみなさんの力作ロボットご紹介第2弾!

レベル 1－②「センサーライトをつくろう」
かわいい人型ロボット
(@パソコンスクール スマイル)
菊池 歩くん　小学3年生

ミッション課題で「かわいい人型ロボット」と、「願いを込めて流れ星」を作成。声を出すたびにロボットの目が光り、歌を歌うたびに光るので一緒に歌っているようだとお気に入りでした。



レベル 1－②「センサーライトをつくろう」
(@パソコンスクール スマイル)
三冨 陽生くん、須田 光くん、竹川 彗くん

こちらの3名も、ミッションクリアのため、音センサーでLEDが光るプログラムを作成した後、自由に好きな形にロボットを組み立てました。目をつけてリアルなロボットにしたり、タワー型にしたり…LEDをつける位置にも工夫がみられます。

三冨 陽生くん
小学1年生
つくってみたいロボットは
「恐竜」

須田 光くん
小学4年生
つくってみたいロボットは
「人そっくりな人型ロボット」

竹川 彗くん
小学4年生
つくってみたいロボットは
「飛ぶロケット」

レベル 1－②「センサーライトをつくろう」
オリジナルタワーロボット
(@パソコンスクール スマイル)
林 晃輝くん　小学5年生

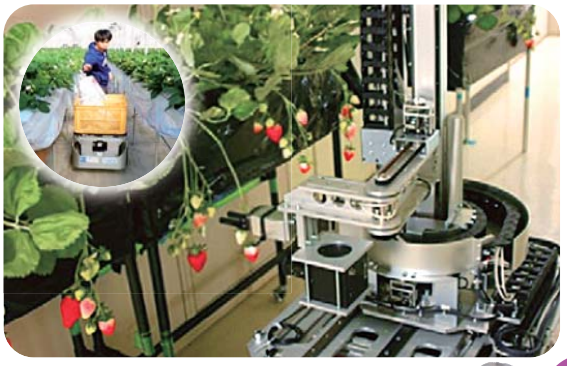
レベル1－①のミッションで音楽を作った応用も取り入れて、暗くすると光センサーが反応し、「キラキラ星」のメロディーに合わせて3色のLEDが順番に光る自信作のロボットです。

「みんなのために!お助けロボット」ご紹介
孫に手を引かれる感覚!? 歩行支援ロボット

パナソニックと名古屋大学は共同で、歩くことが衰えてきた高齢者のつえの代わりとして歩行を支える屋内用歩行支援ロボットを試作しました。速さ・方向・リズムなど、歩く高齢者の考えに応じて、常に支えられるようにロボットを制御します。今後はさらに障害物などの危険を検知する色々なセンサーを付ける予定です。また、高齢者の日常に寄り添うロボットとして、見た目は室内に置けるように孫に似せて作った…らしいです。

自分で動くイチゴ収穫ロボット

色を見て、イチゴの熟したレベルや茎の切る位置を正確に理解し、イチゴに触れないで収穫するロボットです。ただ農家の人の声を聞くと、農場ではすべての機能を一度に使うわけではないことから、必要な機能を分けることにしました。移動する・観察する・収穫するという機能を分けてその時に必要になる機能を段階的に使い分けることにしたのです。



みなさんの作品を募集中

授業で作ったロボットを発表するチャンス!写真と、ロボットの特長などを以下のアドレス宛に送ってください。

artec-os@artec-kk.co.jp
※件名に「エジアカ通信 作品紹介係」と入れてください。

Vol.4 発明偉人伝 トーマス・A・エジソン

～1847年2月11日生まれ～

天才は1%のひらめきと99%の努力である

これが彼の有名な格言ですね。しかしこれは当時の記者の誤訳だったと言われています。「ひらめき」について聞かれたエジソンの本当の答えは「生まれたばかりの人間の脳にはリトルピープルが住んでいる。大人になるとその声が聞こえなくなる。しかし、このリトルピープルの教え(ひらめき)を1%でも感じとることができれば、残りの99%の無駄な努力をしなくてもよい。」といった前記の格言とは違う正反対なものだったというのです。

一見不思議な答えですが、次のような格言も残しています。

「最初のひらめきが良くなければ、いくら努力してもダメだ。ただ努力だけという人は、エネルギーを無駄にしているにすぎない。」これらのことからエジソンは大人になっても固定概念にとらわれず純粋な心で問題に立ち向かい、鋭いひらめきを大切にすることが大切だと言いたかったのではないでしょうか。

Quiz Artec Edison Academy
数字の問題?漢字の問題?

法則にのっとり□にあてはまる数字をいれてください。
●ヒントは熟語です。

人+色=10+10
宿+飯=1+1
期+会=1+1
載+遇=1,000+1
日+秋=1+1,000
寒+温=□+□

※答えは次号で発表します。

Vol.3(11月号)クイズの答え: 問題①23(11時のことです)問題②5(0の数です)